

3. 小・中学校における環境教育ツールとして新カリキュラムを作成（新企画）

当社は、地域の教育機関と連携して、次世代を担う児童生徒のみなさんが、エネルギー問題を自らの課題として捉え、自ら考え、生活を見直していくなど主体的に対応できる資質や能力を育てていただきたいという願いから、当社社員が講師となって出前授業を行う「エネルギー講座」を1993年より実施しております。

このたび、地域の小・中学校からのご要請で、従来以上に環境問題をテーマの主体として扱いたいというニーズが多数寄せられていることから、環境問題や電気の効率的な利用などについて解説した標準的カリキュラム（教材・ワークシートなど）を新たに作成いたしました。これにより、エネルギー講座における環境教育を一層充実してまいります。

教材の主な構成内容は、以下の通りです。

【地球温暖化】

（教材例）『私たちの50年後は？今の地球を残すために何ができるかを考えよう』

	個別テーマ	ねらい
授業1	私たちの50年後は？	導入：わかりやすいビデオ教材を活用し、生徒の地球温暖化への興味を引き出す。
授業2	地球温暖化の影響 ～自然環境と生き物～	地球温暖化による生活への影響と、生き物への影響を考える。
授業3	生活とCO ₂ の関わり	地球温暖化の原因とされているCO ₂ とエネルギーの関係を知り、くらしとCO ₂ のかかわりを理解する。
授業4	くらしを支える産業とCO ₂ の関わり	自分たちの身近な製品を通して、私たちのくらしとCO ₂ に深い関わりがあることに気づく。
～		（略）
授業10	自分たちにできることを考えよう～CO ₂ 削減キャンペーン	クイズ形式で授業全体の振り返りとともに、CO ₂ 削減キャンペーン企画を発表しあう。

【大気保全】

（教材例）

	個別テーマ	ねらい
授業1	大気の大切さを知ろう	導入：目に見えない大気について、三宅島の映像なども見ながら、自分をとりまく大気の大切さに気づき、大気の汚れの原因について知る。
授業2	身近な大気の様子を知ろう	学校周辺で大気を汚す要因を調べてみる。光化学スモッグなど代表的な大気の問題を理解する。
授業3	雨と大気の問題を知ろう	酸性雨について知り、「酸」について実験を通して考える。また酸性雨の影響についても理解する。
授業4	排気ガスの植物への影響を知ろう	排出ガスについての実験をまじえて大気汚染の問題を実感し、社会の取り組みを知る。さらに、電力会社の具体的な大気汚染防止対策について知る。
授業5	地球環境を守るために	実験結果のまとめと、これまでの授業についてクイズ形式で理解を深める。